



5がつ附幼だより

令和5年4月28日

子どもの成長には“安心基地”が必要

附属旭川幼稚園園長 佐藤 公文

4月25日に旭川地方気象台で桜開花宣言がありました。例年より少し早い桜の開花ということになります。桜の花を長く楽しむためには風が弱く、雨が降らず、少し涼しいというのが条件です。連休中、きれいなサクラを楽しみたいですね。今年、旭山公園、神楽岡公園で、久しぶりにバーベキューができるようです。詳しくは旭川公園緑地協会のホームページを見てください。また、旭山公園の売店、期間限定の露天商もオープンするようです。コロナ前と同じように楽しいことができることは本当にうれしいことです。

さて、園児の皆さん、保護者の皆さん、4月からの新たな幼稚園生活に慣れましたか？幼稚園生活を楽しめるようになりましたか？昨日の避難訓練では3歳つぼみ組も担任の指示をしっかりと聞いて落ち着いて避難できました。みんな幼稚園生活に少しずつ慣れてきたと思います。でも、本当に慣れたといえるのは6月の運動会をみんなで体験して、達成感や満足感をみんな一緒に経験できてからになると思います。連休(1・2日は通常保育です)で心身ともにリセットして、8日に元気に登園してください。5月もみんなで元気に、たっぷり遊びましょう。

私たち教職員は春休み中に「ホッとできる保育室」「楽しい保育室」「行きたくなる保育室」になるように、保育室をデザインして準備しました。担任も副担任も園児の皆さんにとっては“安心できる存在”になることが第一番目の目標になります。私は家庭、幼稚園、保育室が“安心基地”であると考えています。困ったことも、楽しいことも、何でも話すことができたり、ちょっとわがままも言えたり、そんな“安心基地”を持つことが、子どもの成長に大事なことのひとつです。幼稚園・保育室が“安心基地”になることで、ちょっと難しいことにも挑戦できるし、失敗しても立ち直ることができるものです。“安心基地”を基にしたいろいろな経験の積み重ねが、子どもを成長させ、大人になってからも社会の一員として、幸せに暮らす為の生きる力になると考えています。

連休中にきれいな春の花や

春の風景を探してみませんか

春の花、例えば、エゾエンゴサク、カタクリ、サクラ、モクレン、チューリップ、スイセン、藤の花・・・

観光地はもちろん、皆さんの家の周りでもきれいな桜、きれいな草花を見ることができるでしょう。日常の生活でも、普段気づかないところに、きれいな花が咲いてたり、きれいな風景があったり、新しい発見のあるのも楽しいですね。連休楽しみましょう。

旭山公園ライトアップの桜



カタクリと
エゾエンゴサク

